



発行所：函館脳神経外科病院
所在地：函館市神山1-4-12
電話：0138-53-6111（代表）
メール：kanpougi.mailing@gmail.com
（●を@でご利用ください）
発行者：岩本勝一
作成者：本間貴浩 渡野雄輝

令和8年度 第1回研修会・総会

令和8年4月11日（土）、市立函館病院にて14時から研修会、16時半から総会が開催されました。例年行っている総会での表彰式ですが、今年度は11月に開催予定の函館放射線技師会創立75周年記念式典にて表彰式を執り行います。式典が近づき次第ご案内申し上げますのでご出席いただきますようお願い申し上げます。

～研修会～

一般演題 座長 鎌田 拓海（函館脳神経外科病院） 石田 雄大（函館中央病院）

「A I S における超高速MRIとCTの検査時間の比較」

函館脳神経外科病院 田淵 智也

「STAT画像報告体制の構築による意識変化とその課題」

市立函館病院 杉田 健輔

「Flow Diverter留置後におけるSilenzMRIの有用性」

函館新都市病院 中村 敦

「造影超音波検査が有用であったFNHの1症例」

函館市医師会病院 能登川 仁美

「FFRangioシステム導入から1年～使用感と今後の展望～」

函館五稜郭病院 番匠 涼雅

特別講演 座長 函館放射線技師会会長 岩本 勝一

『DMAT活動から学ぶ災害医療 一能登半島地震におけるDMAT派遣の経験から一』

市立函館病院 中央放射線部技術科 手塚 秀臣

真壁氏、終身会員に

終身会員になるにあたり

函館西部脳神経クリニック 真壁 武司

会則によると60歳を超えて一定金額を寄付することにより終身会員の資格を得ることができます。ただ今の社会情勢を考えると定年延長をする施設も増え、年金支給年齢も遅くなり60歳を過ぎてもまだまだ働かなくてはならない状況です。自分は昭和の終わりに技師になり平成、令和とやってきました。函館放射線技師会におきましては、20代後半で一度役員をやらせていただき40代後半から50代で再度役員、会長も務めさせていただきました。また、この間北海道放射線技師会やJARTの委員なども経験し技師会活動に関わって来ました。現在も監事という形で函館放射線技師会に関りをもっていますが、職能団体としてこの会が会員のために有意義な会であり親睦を深めるような会であるよう期待しております。今後も現役プレイヤーにこだわりやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

新理事挨拶

祝75周年 そして伝説へ…

～函館の診療放射線技師が本気でつながる新時代～

このたび、函館放射線技師会副会長を拝命いたしました。役員としては9年ぶりの復帰となります。以前は総務を中心に活動しておりましたが、今回は学術担当として、新たな立場から函館の診療放射線技師の繋がりや成長に尽力してまいります。

私は、函館の放射線界隈の最大の強みは「距離の近さ」だと考えています。年齢や性別、所属病院の垣根を越え、市内の診療放射線技師同士が自然に声を掛け合い、相談し合える。この空気感は、全国的に見ても非常に貴重な財産です。

だからこそ、些細なことでも情報共有する文化を大切にしたいと思っています。小さな経験や工夫が、誰かの業務改善や安全管理、新たな挑戦のきっかけになるかもしれません。

函館放射線技師会を、ぜひ“自己開発”と“職場開発”のために存分に利用してください。学び、人と繋がり、刺激を受け、自分の現場へ持ち帰る。その循環を、もっと強きたいのです。

今年は函館放射線技師会設立75周年という大きな節目を迎えます。この歴史を単なる通過点にせず、次世代へ繋がる盛大な盛り上がりや、未来永劫続く活動へ発展させたいと思っています。

北海道で一番、いや、全国で一番の“一枚岩の職能団体”を、皆さんと共に作っていきます。ぜひ一緒に、函館の放射線技術の未来を盛り上げていきましょう。

中央病院 駒野 圭史

このたび、函館放射線技師会の新理事を務めさせていただくことになりました函館五稜郭病院の小山内幸次です。日頃から函館放射線技師会を支えている先輩方に加わり、このような役割を担わせていただくことになり、うれしさと同時に身の引き締まる思いでおります。

放射線技術は日々進歩し、私たちが学ぶべきこともどんどん広がっています。私自身、日々の業務の中で「もっと知りたい」「誰かと共有したい」と感じる事が多くあります。理事としての活動では、そうした思いを大切にしながら、気軽に参加できる研修や、現場で役立つ情報交換の場や交流のためのイベントづくりに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、若い技師の方々が相談しやすく、経験豊富な方々が自然と知識を伝え合えるような、あたたかい雰囲気の花師会でありたいと思っていますので職場の垣根を越えて横のつながりが生まれ、互いに支え合える関係が広がっていくことを願っています。

まだまだ未熟な点も多いですが、皆さまのお力をお借りしながら、函館の放射線技術と地域医療の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。私を知らない方も多いと思いますがどうぞ気軽に声をかけていただけるとうれしいです。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

函館五稜郭病院 小山内 幸次

函館放射線技師会の会員の皆様、こんにちは。この度、新しく役員に就任いたしました函館脳神経外科病院の鎌田拓海です。初めて役員という大役を担うこととなり大変緊張しておりますが、同時に身の引き締まる思いでいっぱいでございます。

私自身、この函館放射線技師会に入会して十年以上経ちますが、これまで様々な研修やイベントを通して素晴らしい知識や経験を得ることが出来ました。中でも、スポーツや親睦会等のイベントは技師同士の交流の場となったり、そして「純粋に楽しい」がある素敵な企画だなと感じていました。

そして今回、企画を担当させて頂くこととなりました。私がこれまで会員として感じていた「楽しい」を今度は役員として会員の皆様にお届け出来るように尽力をしていきたいと思ひます。

まだまだ経験の浅い若輩者であり、至らない点も多くあると思ひますが、道南地域の医療現場を支える一員として、皆様と共に歩んでいきたいと思っています。どうぞ温かいご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

函館脳神経外科病院 鎌田 拓海

退任理事挨拶

退任挨拶

このたび、令和8年4月をもちまして、函館放射線技師会の役員を退任いたしました。役員として活動する中で、多くの方々との出会いに恵まれ川森会長、小林会長、真壁会長、岩本会長のもと楽しく有意義な時間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

役員活動の中では、全国大会の函館開催という大きな事業にも携わる機会をいただきました。準備や運営には多くの苦労もありましたが、会員の皆様のご協力のおかげで無事に成功を収めることができました。

また、技師会活動を通じて他施設の診療放射線技師の皆様と交流できたことも、私にとって非常に大切な時間でした。技師会活動に参加したからこそ得られた貴重な財産だと感じています。

役員という立場からは離れますが、これからも函館放射線技師会の一会員として、会の発展を応援していきたいと思います。ありがとうございました。

五稜郭病院 竹内岳



退任挨拶

たき整形外科クリニックの木下です。このたび役員を退任することになりました。5期10年企画を担当しイベントや景品を自分なりに工夫してまいりました。力及ばず至らない点もあったと思いますが皆様にサポートいただき無事にやってこれました。本当にありがとうございました。

たき整形外科クリニック 木下雄策



新理事集合写真



❀お花見❀

4月下旬、他病院の方々とのお花見に初めて参加しました。天候も素晴らしく、桜も満開で花見日和でしたが、その日に限っては「花より人との交流、つながり」でした。

これまで私は当院以外で横のつながりを持つ機会が少なかったため、はじめはやや緊張していましたが、様々な年代の方が参加されており、少しずつ会話が弾んでいきました。特に同年代の人とはそれぞれの業務内容や環境などについて具体的に話を聞くことができ、自分の働く姿勢を改めて見直す良い機会となりました。また、日々の業務で感じている悩みや課題などについても共有し合うことができ、自分だけが抱えている問題ではないと分かったこともとても大きかったです。異なる環境で働く人の意見、考え方に触れたことで、新たな視点や気づきを得ることができ、今後の業務にも活かしていきたいと感じました。今回の機会は、自身のモチベーション向上にもつながる有意義な時間となりました。

五稜郭病院 谷口史夏

4月から函館五稜郭病院に入職した笹谷美帆と申します。函館出身で、地元で働けることを大変嬉しく思っております。まだ慣れないことも多く日々学ぶことばかりですが、これから診療放射線技師として一人前になれるよう、日々努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

4月25日に五稜郭公園で行われたお花見に参加しました。当日は天候にも恵まれ、満開の桜がとても綺麗で印象的でした。また、お肉や野菜などたくさん用意していただき、美味しく楽しい時間を過ごすことができました。

技師として初めて行事に参加しましたが、皆さんが明るく話しかけてくださり、交流を深めることができました。今後も機会があれば積極的に参加したいと思います。この度は企画をしていただいた皆さま、ありがとうございました。

五稜郭病院 笹谷 美帆

🎳ボウリング🎳

北海道放射線技師会会員親睦ボウリング大会に参加して

令和8年3月7日にラウンドワンすすきの店で行われた北海道放射線技師会会員親睦ボウリング大会に参加させて頂きました。私は、去年も参加させて頂き準優勝することができたので今年は優勝を目指していました。去年はとてもひどいスコアでチームのメンバーに迷惑をかけてしまったので今年は、足を引っ張らないようになんとか頑張ろうと思っていました。

今回は全道から約60名の会員が参加して2ゲームの大会が始まりました。今年のチームは去年と違い当院の竹内さん、市立函館病院の東野さんでした。このチームの大将である竹内さんは去年も優勝していたので、今年は連覇がかかっている大事な大会でした。連覇がかかっているというプレッシャーがありましたが函館メンバーで、和気あいあいと盛り上がりお酒を飲みながら楽しく投げることが出来ました。その結果、完璧なチームワークにより無事に函館支部が連覇を達成することが出来ました。私は去年よりはいいスコアを出すことが出来たので少しは力になれたのではないかと思います。札幌で大会は開催されるので参加するには少しハードルが高いかもしれませんが、ボウリングは年齢など関係なくみんなで楽しめるスポーツなので、ぜひ沢山の人にも参加してもらいたいと思いました。

最後にこのような大会を企画運営してくれました北海道放射線技師会役員の皆様ありがとうございました。

函館脳神経外科病院 太田 昌裕